

#### Ⅳ－26 黒沢湿原の潜在自然植生調査とその調査結果について

建設材料試験所 正会員 ○松浦 充宏 建設材料試験所 正会員 花岡 史恵  
池田町役場 渡邊 充 日本生物教育学会徳島県支部 森本 康滋

### 1. はじめに

黒沢湿原は、徳島県西部の池田町漆川地区にあり、標高550m、長さ2kmに及ぶ湿地帯である。今回、この黒沢湿原周辺において、現地植生調査に基づく潜在自然植生調査を実施した。本報告では、調査地周辺の潜在自然植生とその樹種を明らかにする。著者らは、開発行為における緑の復元手法としての潜在自然植生による緑化推進を目的として、徳島県内の海部<sup>1)</sup>・小松島<sup>2)</sup>で実施した潜在自然植生調査結果の公表を行ってきた。今回の報告は、これらの報告に続くものである。

### 2. 現地植生調査

現地植生調査は、ブロン－ブロンケによる植物社会学的調査<sup>3) 4)</sup>に基づき、表－1に示す樹林調査・毎木調査・環境条件調査を実施した。調査は、黒沢湿原を中心に三好郡を主として行い、池田町・山城町・井川町・三加茂町・半田町内に点在する社寺林および自然状態に近い現存植生の林部を対象とした。現地調査のうち、樹林調査・毎木調査結果を表－2に示す。

表－1 現地植生調査の概要

| 名 称     | 内 容                                                            |
|---------|----------------------------------------------------------------|
| 樹 林 調 査 | 森林構造が明確である林部についての植生調査                                          |
| 毎 木 調 査 | 群落に階層構造がみられず、樹木が社殿を帯状に取り巻いているような場合、高さ10m以上の樹木毎に行う樹種・樹高・胸高直径の調査 |
| 環境条件調査  | 海拔高度、方位、傾斜、微地形、土壌条件、風当たり、日当たり、土湿など野外で測定可能な環境条件調査               |

表－2 現地植生調査結果

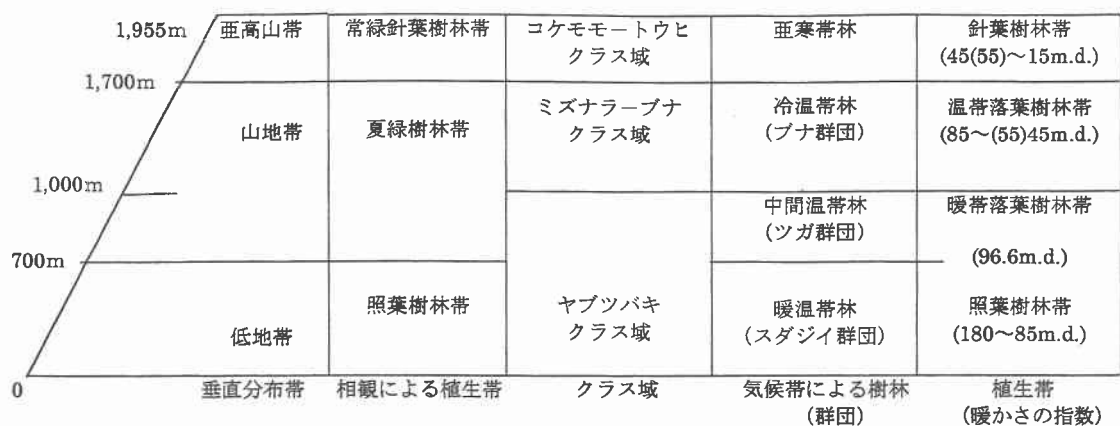
| 記 号              | 調査地     | 調査場所  | 標高(TP+m) | 調査日        | 樹林名および植物種名                                          |
|------------------|---------|-------|----------|------------|-----------------------------------------------------|
| A* <sup>5)</sup> | 池田町黒沢湿原 | 高木林   | 550m     | 1993, 1994 | アカマツ林、コナラ林、スキ・ヒノキ林                                  |
| 1                | 池田町西山   | 鎌神社   | 460m     | 1997.10.22 | ウラジロガシ、アカガシ、カゴノキ、ムクノキ、エノキ、ヤマモミジ、ヤブニッケイ、ネズミモチ、エゴノキ   |
| 2                | 池田町西山洞草 | 諏訪神社  | 480m     | 1997.10.22 | ウラジロガシ、コシアブラ、ウラジロノキ、アカガシ、アセビ、カクレミノ、ヤブニッケイ、ソヨゴ       |
| 3                | 池田町馬場東  | 四所神社  | 440m     | 1997.10.22 | ケヤキ、ウラジロガシ、カゴノキ、ヤブニッケイ、ホソバタフ、ムクノキ                   |
| 4                | 池田町漆川   | 八幡神社  | 400m     | 1997.10.22 | ウラジロガシ、シラカシ、アラカシ、ソヨゴ、アセビ、ヒサカキ、ネズミモチ、ケヤキ             |
| 5                | 山城町若山   | 金比羅神社 | 340m     | 1997.10.23 | カゴノキ、イチヨウ                                           |
| 6                | 池田町大和   | 八幡神社  | 300m     | 1997.10.23 | カゴノキ、ウラジロガシ、アラカシ、シリブガシ、ヤブツバキ、ヒサカキ、クスノキ、エノキ          |
| 7*               | 池田町大東   | 藤原神社  | 400m     | 1997.10.23 | シラカシ林、ケヤキ、イロハモミジ、ヤブツバキ、スキ、イヌビロ、リンボク、ネズミモチ、ヒサカキ、エゴノキ |
| 8                | 半田町小谷   | 十二社神社 | 610m     | 1997.11.20 | ツガ林、ブナ、アスサ、ケヤキ、オオモミジ、ウラジロガシ、ヤブニッケイ、ヒサカキ、シキミ、リンボク等   |
| 9                | 三加茂町土々呂 | 土々呂滝  | 280m     | 1997.11.20 | イロハモミジ、ケヤキ、ヤマザクラ、ネムノキ、リョウブ、ヤマモミジ、クスノキ、アラカシ、ヤブツバキ等   |
| 10               | 半田町白石   | 三所神社  | 550m     | 1997.11.20 | シラカシ、ケヤキ、ウラジロガシ、アラカシ、ヤブツバキ、サカキ、ネズミモチ、ムクノキ、イロハモミジ等   |
| 11               | 半田町折坂   | 新剣神社  | 450m     | 1997.11.20 | スキ・ヒノキ林、ウラジロガシ、シラカシ、アラカシ、ヤブツバキ、ヒサカキ、チャノキ、イロハモミジ等    |
| 12               | 三加茂町西庄  | 貴布禰神社 | 300m     | 1997.11.20 | カツラ、アサダ、ウラジロガシ、シラカシ、アラカシ、サカキ、イヌガヤ、ヤブニッケイイヌマキ、カゴノキ等  |
| 13～19*           | 井川町岩坂他  | 半自然林  | 210～600m | 1997.07.29 | イロハモミジ、ケヤキ、カヤ、イヌガヤ、ウラジロガシ                           |
| 20～23*           | 井川町日ノ丸山 | 半自然林  | 940～970m | 1997.07.30 | コナラ、イヌシテ、クマシテ、ヤマザクラ、ハリギリ、ホウノキ、アオハダ、リョウブ、イタヤカエデ等     |

注)記号に\*印がついているものは、樹林調査を示す。印のないものは、毎木調査を示す。Aの<sup>5)</sup>は脚注の参考文献による

### 3. 考察

#### 1) 三好郡における潜在自然植生

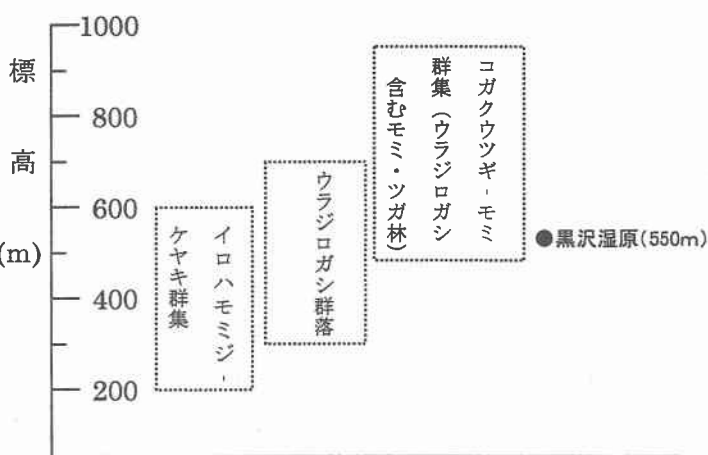
図－1は、徳島県の植物帯分布<sup>6)</sup>を示したものである。図－1と今回調査の表－2より、三好郡における標高200～600m付近の渓谷ではイロハモミジ・ケヤキ群集、標高300～700m付近の山地斜面ではウラジロガシ群落、標高500～1,000m付近ではカクツギ・モミ群落が、潜在自然植生であると考えられる。図－2に三好郡における潜在自然植生分布を示す。



図－１ 徳島県の植物帯（森本康滋、西浦宏明(1985)による）

## ２）黒沢湿原における潜在自然植生

黒沢湿原周辺の山林を含む黒沢地域は、図－１の植栽帯として、ヤブツバキクラス域からブナクラス域への移行帯に属する。黒沢湿原の暖かさ指数は、試算の結果、93.5m. d. となった。そして、図－２における黒沢湿原の標高(550m)、黒沢湿原での花粉分析調査結果<sup>5)</sup>、表－２の調査結果から、総合的に判断すれば、黒沢湿原周囲の山林における潜在自然植生は、ウジロカシ群落あるいはコガクウツギ・モミ群集（ウラジロカシを含むモミ・ツガ林）であると推測できる。表－３に黒沢湿原周辺の潜在自然植生と樹種一覧を示す。表－３に示した植生樹種は、概ね池田町の海拔 500m～700m地点に適用可能であると考えられる。



図－２ 三好郡における潜在自然植生の群集(群落)分布

表－３ 黒沢湿原周辺の代表的潜在自然植生と樹種一覧

| 群集  | ウジロカシ群落・コガクウツギ・モミ群集                                       |                                                        |
|-----|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 樹種  | 常緑樹                                                       | 落葉樹                                                    |
| 高木樹 | モミ・ツガ・ウラジロカシ・シラカシ・アラカ・ツカハカシ・シロバカシ・知カネチなど                  | ヤマザクラ・イシデ・アカシデ・クマシデ・イタヤカシ・アズサ・朴ノキ・ケヤキ・アオハダ・カキノキ・アオダモなど |
| 中木樹 | ヤブニッケイ・ヤブツバキ・ササキ・ホトハタブ・リンボク・イガヤ・カクレミノ・シキミ・ソコ・ヒイタギ・ヤ・シキミなど | ウラジロノキ・ヤマコウバシ・エゴノキ・シロモジ・カマツカ・シラキ・オウツバツツジ など            |
| 低木樹 | スズミヅチ・ヒサキ・アセビ・イヌツゲ・ヤマツツジ など                               | タンナワフキ・ネジキ・コツクハ・ネツギ・コマミ・コバノガマシ・ウスノキなど                  |

## ４．おわりに

本報告では、現地植生調査に基づく、黒沢湿原周辺の潜在自然植生調査結果として、代表的潜在植生とその樹種を示した。建設事業等の開発行為により破壊された緑を復元する場合、計画地の気候風土に即し、自然の力で緑を復元するためには、潜在自然植生による緑化は有効と思われる。今後も各地で潜在自然植生調査を実施し、調査データ蓄積とその公表、共有化を継続していきたいと考えている。

1) 田村佳大・松永昭博・澤田俊明・森本康滋(H. 9)：道路切土斜面における潜在自然植生調査についての一報告、土木学会四国支部第3回発表

2) 花岡史恵・田村佳大・吉岡由布子・森本康滋(H. 10)：小松島市周辺の潜在自然植生調査とその調査結果について、土木学会四国支部第4回発表

3) フロン・ブロンケ(1964)：PFLANZENSOZIOLOGIE 3改訂版 865

4) 沼田 真(1969)：図説植物生態学、朝倉書店

5) 黒沢湿原植物研究会・池田町教育委員会(H. 8)：黒沢湿原植物群落調査報告書

6) 森本康滋・西浦宏明(1985)：徳島県の植生(5) 中間温帯林、徳島県高等学校理科学会誌第26号